



11月12日(月)に、南下浦小学校の4年生が、ワカメの種差しに取り組みました。4年生は、1年間かけて、三浦の海藻について学習しています。ゲストティーチャーに、保護者の菱沼さんをお招きしました。海や漁港に近いということもあり、ワカメの養殖をしていることは知っている子どもたちが多かったのですが、実際に体験したことはなかったようです。

当日は、小さなワカメの種を、自分たちで5cmぐらいに切り、太いロープに差していきました。ロープに差す間隔に興味を持って質問したことで、子どもたちは、育った時に窮屈にならないように、間隔をあけて種を差すことを学びました。また、胞子がつきやすいように、ワカメの芽を糸につけるということでした。自分たちでは分からなかったことが解決でき、とてもうれしそうな様子でした。

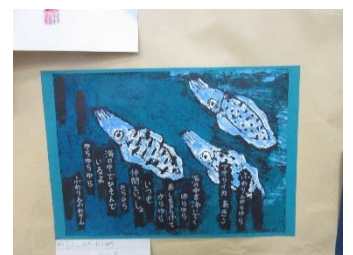
今後は、自分たちが種差しをしたワカメの育つ様子を教えてもらいながら、ふだん食べているワカメの育て方について学びを深めていく予定です。



11月24日(土)25日(日)に、初声市民センターで、三浦市創造展が開催され、本研究所も、海洋教育写真コンテストの入賞作品や市内小中学校の海洋教育授業の様子の写真を展示させていただきました。

その他、イカのプラスティネーションや透明骨格標本(写真左下)に興味を持った子どもたちや保護者の皆さんも多かったです。

今回の創造展では、海の生き物を描いた絵や作品がたいへん多かったのが印象的でした。海洋教育が広がりを見せていることがよく分かりました。



11月27日(火)、上宮田小学校5年生が、「松輪サバ」の調理の授業を行いました。5年生は、1年を通して、松輪サバについて学習を続けています。

今年は、松輪サバがなかなか水揚げされず、調理はあきらめかけていたのですが、松輪の漁協さんが、松輪サバが上がったことを教えてくださり、急遽実施することができました。

児童のおじいさんの湊さん、おばあさんの須田さんが、サバを捌くところから見せてくれました。切り身にした後、味噌煮を作ってくれました。

児童は、捌くところから調理まで、興味津々で見守っていました。最後は、味噌煮を、美味しくいただきました。



(文責 事務局長 渋谷)